

真政会綱領

私達は地方自治の信念に則り行政に対する監視と提言を怠ることなく、常に市民と行政のパイプ役として「市民」・「議会」そして「市当局」との三位一体を旨とし、市民福祉の向上と地域の振興・発展、真の市政伸展に邁進することを誓う

真 政 会 報

創刊号

発行責任者 齋藤 清 編集 政務調査会

「真」に市民のための政治を目指して!! 「真」に元気な福島市の創造のために!! “力を合わせて「真心」をもって 「真剣」に取り組んで参ります”

福島市議会新会派「真政会」結成

結 成 挨 拶

新年明けましておめでとうございます。

さて、昨年11月に意を一にする8名の議員により、新最大会派「真政会」を結成し、今12月議会に臨み、様々な成果を得ながら無事終了致しました。

私ども真政会会員一同、今後も今まで通り元気にそして真剣に「市民の方々の声を聴き」市政を考え、市民のために役立つ集団となるよう頑張る所存でありますので旧に倍するご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

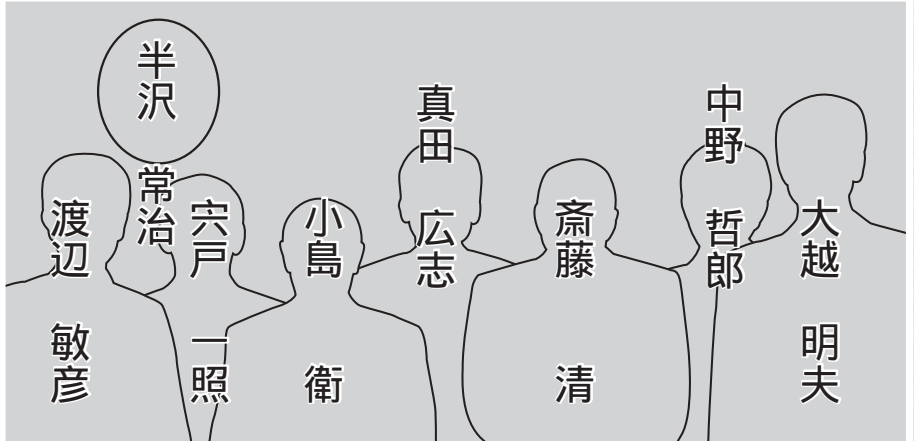
また、新潟県中越地震および、スマトラ沖地震において被災され亡くなられた方々のご冥福と、一日も早い復興を心からお祈りしております。

平成17年1月吉日

真政会長 齋藤 清
会 員 一 同



真 政 会 メ ン バ ー



市民の方々のご理解とご協力を心より御願ひ申し上げます。

市政に対する相談は

「真政会」へ

E-mail info@sinseikai.jp ホームページ http://www.sinseikai.jp

TEL 535-1111 FAX 533-7613

顧問 (総括指導)

上鳥渡字茶中49 Tel.593 - 3677

半 沢 常 治

総務常任委員

新年明けましておめでとうございます。

はじめに、平成17年が、皆様方にとりまして、健康で希望あふれる幸多き年でありますよう心からお祈り申し上げます。

さて、昨年の社会情勢の中では、景気が回復傾向にあると言われながらも、依然厳しい状況にあり、地方財源の確保など地方自治にも厳しさが続いております。

このような中で、私は、議員活動を通して、いかにして市民の生活を支えていくか、安全で安心して住めるまちづくりを進めていくかを考え、真政会の一員として新たな観点から市政参画をしております。



また、地域の中にあっては、社会資本の整備もまだまだ必要な地区もありますし、住民と連携した地域づくりの一役を担うべく、この一年も生活者の視点で、農業、環境、医療福祉、社会教育などの重要課題に取り組んでまいりたいと考えております。

今年も引き続き皆様方のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

会 長

松川町浅川字台坂1 Tel.548 - 7745

齋 藤 清

総務常任委員・議会運営委員・監査委員

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より真政会に対しご指導、ご厚情を頂いておりますことに対し心から感謝申し上げます。さて、これまで市政の数々の課題や政策の決定に、議会人として様々な立場や役職で関わりを持ってきたことに誇りを感じるとともに、近年その難しさを実感しております。

平成16年には、水道料金の値上げや市町村合併が大きなテーマでした。また国の三位一体改革のなかで厳しい行財政改革と運営を余儀なくされており、福島市の将来はどうあるべきか、今ほど真剣かつ正面から議論し合い方向性を見出す必要があると感じたことはありません。

16年11月には所属していた会派を脱会し市政に新風(真)を巻き起こすべく「真政会」を結成しましたが、他の会派や志を同じくする議員とは、是々非々大局的な視野に立って連携を模索することも必要であると痛感しております。昨年暮れにスタートした福島松川スマートIC社会実験の実現はまさにその好例であり喜ばしい限りであります。



これからも議員個人それぞれは周囲の状況を把握し見極めて、議会と行政が本当の意味での車の両輪となるよう努力してほしいものだと思っております。

時代は大きなうねりを伴って変わろうとしています。今年新しく成人となられた皆さん、新成人誠におめでとうございます。いつの時代も時代を変えるパワーは皆さんの世代であります。大きな希望と直向きな姿勢はきっと「今」を変えるに違いありません。

我々も議会活動を通して皆さんや市民の負託に応えるべく、精一杯頑張る所存であります。

今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして幸多き年でありますようご祈念申しあげ、年頭のご挨拶といたします。

政策ビジョン

幹事長

上鳥渡字仲原2 - 1 Tel.593 - 3115

大 越 明 夫

経済民生常任副委員長

市民の皆様におかれましては輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年11月我々同士は新会派「真政会」を結成いたしました。皆様より様々なご意見、ご指導、激励を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。私は議員として市民各位の負託に応え、行政執行に対して監視と提言を行い、目的達成に向けて議会と当局が切磋琢磨し車の両輪となることで市勢進展に努めたいと考えて居ります。

当市の抱える課題は沢山ありますが、県都としての活力ある街づくりができていくか、少子高齢化に対応できる構造改革は進んでいるか、市民一人一人が福島市に夢と希望を抱えているか等ありますが、課題解決に向けた政策では飯野町、川俣町との合併を推進することで中核市の基盤を形成し、大学、専門学校を中心市街地に誘致することで若者を呼び戻し、おいしく安全で豊富な溜上ダムの水は当市が得た攻めの財産であり、有効活用が求められています。このような背景を踏まえ、皆様の期待に応えるべく努力して参りますのでご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



副会長 (幹事会担当)

太田町14 - 2 Tel.534 - 4226

小 島 衛

建設水道常任副委員長

新年おめでとうございます。

私は、昭和17年生れ、今年は平成17年元号の違いはあれど、親みを強く感じ、何か気合の入る年になりそうです。

私のモットー「明るく、楽しく、元気よく」がんばります。

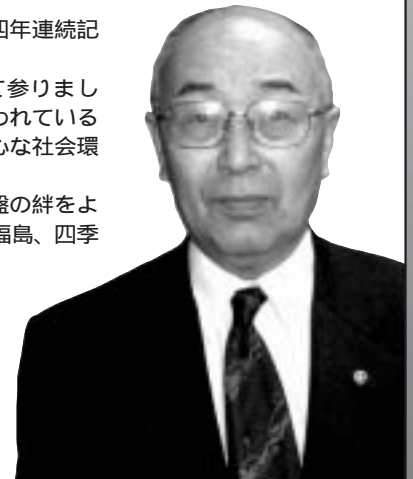
昨今、子供を取り巻く世の現状は、考えられない事態で、子を持つ親、孫を持つ方々にとって心配は尽きず、他人事では、すまされぬ。少子化対策は、身近な問題となっており、国あげての対応が必要ですが、本市独自の出生向上の秘策を考える時期が到来している。そんな少子化に水を差しかねない現実もある。

例えば、麻薬、覚せい剤、シンナー等薬物乱用、今だに乱用者が絶たない社会、若い人達の健康の有難さ・大切さをもっと知ってほしい。タバコそして性感症などの体調変化にも気遣いを持って早期診断を勧めたい。健康を保つ事も少子対策に重要な要素であると思えます。

元旦の新聞記事で昨年「赤ちゃん又最少・四年連続記録更新」の活字が目に入った。

日本の人口減少社会が真に現実味を帯びて参りました。様々な理由、社会情勢が、人間行動に現われているので、結婚、出産、子育てし易い安心な社会環境づくりが今こそ重要な時です。

又、商工業発展のキーは、産学官連携の基盤の絆をより強化し、新商品を世に送り出す努力と観光福島、四季おりおりの魅力を県内外に市民挙げて発信する事で福島をアピール出来ると考えます。行動を興す事こそ実現に近づくこと信じ何事にも一生懸命がんばります。ご指導の程宜しくお願いします。今年皆様にとって素晴らしい年であります様お祈り申し上げます。



政務調査会長

飯坂町字八幡新田11-1 Tel&Fax.542 - 9111 **中野哲郎**

経済民生常任委員、議会運営委員

【プロフィール】昭和23年8月29日飯坂温泉旅館の三男として生まれる・昭和46年より30年間三井物産(株)にてエネルギー関連事業に従事・平成13年4月郷里福島市に戻る・平成15年福島市議会議員選挙初当選 現在に至る

【信条】『着眼大局着手小局』。常に大局的見地に立ち総合的に物事を考え判断し、行動は出来ることよりスピードをもって実行に移す。

【政策ビジョン】市民の皆様の立場に立って考え、皆様と一緒に行動することにより『住民自治』のより一層の充実を図ると共に、人・自然・産業が共生する『個性豊かな活力ある地域社会づくり』を目指す。

新年の門出に当たり一言御挨拶申し上げますと共に、本年目出度く成人をお迎えになられた皆様にご心よりお祝い申し上げます。

さて、今年、三位一体の改革を通して地方分権が進展し、地方の自己決定・自己責任がより一層明確になると共に、都市間競争や自治体間競争も激化することが予想される中、21世紀に勝ち残る福島市の創造の為に、住民・行政・議会が各々の役割を認識し一体となってその知恵と活力を発揮していかなければならないものと考えます。

私は、その様な考えに立ち、新公共経営の観点よりの行財政改革推進に努めると同時に、議決権や監視権の適切な行使と建設的な政策・施策提言を行いながら議員活動を行って参る所存でありますので、皆様の倍の御鞭撻と御指導を切にお願い申し上げます新年の御挨拶と致します。



副会長 (政調会担当)

松川町字青麻山3 Tel.567 - 2660 **渡辺敏彦**

総務常任委員・議会運営委員・農業委員

【プロフィール】JA職員OB(営農指導員~支店長)・元松川小学校PTA会長 現・松川地区青少年健全育成推進会長・BS福島91団副団委員長等

【趣味】剣道・カラオケ 家族-父、母、妻、一男二女

【信条】「地域の声を行政に、そして理にかなった行動を」
「農振商興」(地域の農業が振るえば地域の商業も興る)

明けましておめでとうございます。

昨年は台風・地震など災害の多い年でありましたが、迎えました今年皆様方にとって平穏で幸多い年となるよう御祈念を申し上げます。

さて、私は、市政の中でこの新会派「真政会」を中心として議員活動を展開し、信条に則り市民の方々の声をしっかり聞き、財政厳しい中でありますので理にかなった対応を旨とし、市民の方々の負託に今までより以上応えられるよう頑張る所存でありますので特段のご理解とご協力を御願い申し上げます。

ただ、国政において内外的にも大変厳しい状況にありまことを考えますと、一抹の不安を感じるものであります。国民が安全で安心して暮らせる環境づくりのために頑張る所存であります。国民の方々の負託に今までより以上応えられるよう頑張る所存でありますので特段のご理解とご協力を御願い申し上げます。

良い年になりますように。



真政会議員が 所属する 語る

信条と

政務調査会副会長

松浪町1-15 Tel.526 - 3201 **真田広志**

建設水道常任委員

新年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は、何かとご高配に預かり誠にありがとうございます。お陰さまで議員活動をさせて頂き、早いもので2度目の正月を迎えるに至りました。

さて、2005年を迎え、一部においては景気回復との声も囁かれてはおりますが、現実問題、地方を取り巻く環境はいまだ厳しく、地方財政は三位一体改革等、税源委譲により更なる困窮が予想されます。それらの現状を踏まえ、限られた財源を如何に効率よく且つ効果的に活用していくのか、歳出構造等を含め、行財政改革に取り組む必要がございます。そういった意味でも、われわれ地方議員のあり方が真に問われる年であります。

年も改まり、会派も「真政会」へと移行しました。「真政会」の意味するところは、「真田の政治」もとい、「真の心で真の福島市民のための政治を行う会」であります。その精神に恥じぬよう福島市政の発展、更には市民生活向上のため、粉骨砕身努力してまいりますので、変わらぬご指導、ご鞭撻の程よろしく申し上げます。質問要旨は4面へ。



副幹事長

荒井字上町裏10 Tel.593 - 1035 **宍戸一照**

文教福祉常任委員

「福島駐屯地」

12月定例議会にて「陸上自衛隊福島駐屯地の存続を求める意見書」「イラク人道復興支援活動に派遣された自衛官への支援決議」の議案が共産党の反対、社民党の退席を除く出席議員の賛成多数により可決されました事は、福島市議会の長い歴史のうえからも極めて意義ある事と考えます。今般の福島駐屯地の統廃合問題は10年ごとに見直しが行われる「防衛計画の大綱」による、「中期防衛力整備計画」が策定される論議で編成定数削減による部隊の再編計画に伴うもので在りました。もとより今後の自衛隊の主な任務の変更においては、福島駐屯地の部隊は基幹部隊となりますから、改編機能強化されて然るべきと私見します。

まして駐屯地周辺の訓練環境は他の駐屯地の比ではなく、さらには日々の鍛錬に適したあづま運動公園にも近い。そして県警機動センターと隣接、県消防学校など公的機関が多数近接していることは、中越地震の被害復興活動を見ても市民の安全安心の施策を進める上で極めて重要なことでもあります。

この際、原発立地県の特異事情、近年の自然災害の多発傾向からも、駐屯地機能の拡張余地がある福島駐屯地は、郡山駐屯地の改編に際して隊員の受け入れ提案を議会として発信すべきであります。



平成16年12月定例会は12月7日開会、当局から提案のあった議案を慎重審議し21日閉会した。今定例会は「真政会」結成初議会であり「心機一転」今までも増して「真」に市民のためを考えた会派対応を念頭におき、臨んだ。
 3億6千万円の一般会計補正予算など原案通り可決或いは承認した。当会派からの質問は、真田広志・宍戸一照両議員であり、市政各般にわたり、それぞれ「的を得た」質問を展開し市政を正した。（質問要旨は下記）

12月定例会

「真政会」結成
初定例会

宍戸一照



一般
質問

陸上自衛隊福島駐屯地の統廃合について

平成17年度予算編成の方針を伺う

- ①健全な財政運営を基調に、事務事業の一層の見直しを計り経費の節減に努め、限られた財源で重点施策を積極的に推進する。
- ②義務的経費のうち扶助費が福祉制度改革などで平成16年度同様に大幅な伸びが予想される。経常的経費は前年度比で-5%減の範囲とする。
- ③補助金等の整理合理化により16年度は24件で約1千万円の削減を図った。今後も市民のニーズを的確に捉え、新たな見直しのルールを検討する。

公民館の学習センター化について

- ①指導管理者制度に関する条令は3月議会に提出予定
- ②学習センターは教育委員会の管理体制とするが、今後市民の意見を聞いて地域の実情にあった体制を検討していく。
- ③本市には社会教育指導主事の有資格者が49名いるが現在公民館には6名配置されている。より充実した社会教育事業が展開されるよう、積極的に活用を図る。
- ④公民館の学習センター化による設備の充実や改善プログラムは施設の老朽化や地域的バランスにより計画的に進める。
- ⑤地域の子育て支援ボランティアは育成事業の実施も検討しながら、育成活用に努める。

子どもの夢を育む施設（コムコム）

- ①工事の進捗状況は12月末で85%の見込み。
- ②開館後の施設運営には市民ボランティアを組織して、イベント、各種事業プログラムの企画運営を行い、個々の活動している人材を結びつける活動コーネクトに協力を期待している。
- ③専門知識、技術、ネットワークなどを有する人材を民間から館長として迎え、効率的弾力的な施設の運営を行い市民サービスの充実に努める。

子育て支援対策について

- ①市家庭児童相談室の相談件数は平成15年度が1,580件で児童の養護相談は1,317件。
- ②児童相談事務は児童福祉法の改正で平成17年4月から実情の把握や相談、調査等は市が担う事になるので、相談体制の充実に努める。
- ③児童家庭支援センターは児童虐待防止の相談体制充実強化を図るために検討したい。

都市間交流について

本市は日中国交正常化後に北京市と民間団体と協力して国際交流を積み重ねてきた。今後は本市中学生海外派遣事業を北京市との相互交流事業として実施することを検討。

真田広志



一般
質問

学院大、駅前キャンパス計画について

同計画に伴い、議会に対し、事前に協議もなく、同大と、市が財政支援を含む覚書を取り交わしたことは、議会軽視と取られかねない。その覚書内容及び、今後の対応を示せ。

市民活動サポートセンターについて

地方自治体を取り巻く環境は、権限の委譲に拍車がかかり難問が堆積している。全国的なNPO等活動の活発化には、こうした社会現象が背景にあり、同センターのあり方が問われる。本市における同センターの位置づけ、効果、及び今後の方向性等々・具体的に伺う。

中心市街地の活性化について

中心市街地、駅北地区の都市整備の核として期待されたさくらの百貨店の今年度末撤退により、再生を進める中心地の空洞化に拍車がかかり、中心地の回遊性をも損なう懸念がある、同百貨店を含め、各所に見られる空きビル、空き地等の利活用、及び行政として今後の対応を伺う。

都心東土地区画整備事業について

先般議会において腰浜町・町庭坂線の整備を優先的に進める旨の答弁、その後の進捗状況、それを受けての地域住民への話し合い、説明、理解は十分なされているのか、予定地区を幅員25mとする根拠、等々、今後の対応を含め伺う。

第三中学校の建て替え問題について

先般の新潟県中越地震の際、学校建物被害は、実に8割を超える。本市、第三中学校は特に老朽化が著しい状況にある。学校施設は、非常被害時に子供達の生命を守り、地域住民の応急避難場所としての役割を果たすことから早急な整備が求められるが所見を伺う。

新庁舎建設について

浜田町、春日町線廃道に関し国土交通省から市に対し出された質問状の内容、回答、今後の対応を示せ。また庁舎設計者選定において地域住民の声は反映されているのか、その基準を示せ。
 11月8日、市庁舎周辺住民により、「市役所新庁舎周辺の街づくりを考える会」が結成され、4300人分の署名とともに、3つの要望が提出された。それぞれの要望に対する市長の答弁を示せ。

平成16年12月 補正予算の主な内容 (単位:千円)		
市 民	市民活動サポートセンター開設準備費	8,151
	応急救援物資備蓄事業費	6,702
健康・福祉	重度心身障害者医療助成費	109,548
	地域保育施設助成事業費補助金	1,500
都 市 政 策	福島栄町北地区優良建築物等整備事業費	206,200
教 育 委 員 会	小学校教師用 教科書・指導書購入費	40,222
	児童・生徒及び教師用机イス購入費	7,854
	学習センター会館準備費	7,842

予算編成に向け要望書を提出

平成17年度予算編成に向け瀬戸市長に要望書を提出した

基本政策に対する要望内容

- 1. 景気対策並びに雇用対策の強化
- 2. 財源の確保と行財政改革の推進
- 3. 社会資本の整備促進
- 4. 福祉の充実と生活環境の整備
- 5. 商工・観光業振興策の推進
- 6. 農林業振興策の推進と基盤整備の促進
- 7. 教育の充実・文化の振興
- 8. 高度情報化の推進
- 9. 広域行政の推進
- 10. 地域防災体制の充実



12月定例会で審議された 請願 陳情 意見書

請願	陳情	意見書	結果
市道浜田町・春日町線の一部廃止に反対することについて			継続審査
教育基本法の早期改正を求める意見書提出方について			採 択
教育基本法を変えるよりも、その理念・精神を生かした教育改革の推進を求める意見書提出方について			不 採 択
仮称マックスパリュム大森店出店に関する事について			不 採 択
福島県立リハビリテーション飯坂温泉病院の廃止に反対することについて			採 択
周辺自治体との合併促進について			継続審査
福島市と伊達郡内の各町との合併に関する事について			継続審査
近隣自治体との市町村合併促進に関する事について			継続審査
あらかわクリーンセンター焼却炉建設事業に伴う地元企業の活用について			継続審査
永住外国籍住民の地方参政権確立のための意見書提出方について			不 採 択
精神障害者社会復帰施設小規模通所授産施設の設置・運営に関する事について			採 択
精神障害者地域生活支援センター運営費の確保に関する事について			継続審査
横川地区産業廃棄物最終処分場・中間処理場誘致促進に関する事について			不 採 択
住宅リフォーム助成制度の創設を求める事について			採 択
政府に混合診療解禁・特定療養費制度拡大に反対し、公的医療保険制度の充実を求める意見書提出方について			採 択
犯罪被害者等基本法の内容の早期実現を求める意見書提出方について			採 択
福島市と霊山町との合併を進める事について			継続審査
一般家庭の水道料金大幅引き上げを行わないことについて			不 採 択
陸上自衛隊福島駐屯地の存続を求める意見書			原案可決
イラク人道復興支援活動に派遣された自衛官への支援決議			原案可決
薬害肝炎に関し再発防止策の確立と自治体への財政支援を求める意見書			原案可決
北朝鮮に対する外交見直しを求める意見書			原案可決
教育基本法の早期改正を求める意見書			原案可決
混合診療解禁・特定療養費制度拡大に反対し、公的医療保険制度の充実を求める意見書			原案可決
犯罪被害者等基本法の内容の早期実現を求める意見書			原案可決